

表紙	タイトル	著者	出版社	コメント（紹介した年）	分類番号
	インスタントラーメン誕生物語	中尾 明／作	PHP研究所	子どものころ住んでいた家の裏が、インスタントラーメンの工場でした。今やインスタントラーメンといったいろいろな種類がありますが、出始めた頃の「チキンラーメン」は、会社のキャッチコピーの通り、美味しかったです。そんなインスタントラーメンを開発した、安藤百福のお話。百福は図書館司書も経験したとか。阪神淡路大震災でインスタントラーメンが重宝した話は、初めて知りました。 (2026. 3)	289
	ミルクの本	ミルクマイスター高砂／著 杉木 よしみ／写真 黒沢 美月／編	自由国民社	“牛乳”と聞けば思い浮かぶのは、小学生の頃の給食の時間です。牛乳が体質に合わない人もいるかと思いますが、この本では“牛乳”と“生乳”の違いから、全国各地の様々な牛乳、また変わり種の牛乳やお菓子についても取り上げています。牛乳が体質に合う人も、そうでない人もぜひ読んでみて下さい。見ているだけでもワクワクするような一冊です。 (2026. 3)	648
	トトロの生まれたところ	宮崎 駿／監修 スタジオジブリ／編	岩波書店	どこかにある懐かしい景色を私にとって昭和は見たことのない時代ですが、様々な作品を通してその空気感に触れることができます。「となりのトトロ」もその一つで、幼い頃から何度も繰り返し見ました。中でも、物語冒頭の引越越し場面が一番好きです。隣人との最初の交流や、新しい家や生活への期待と不安が描かれている場面で、木のトンネルを抜けた時のわくわく感が本書のスケッチにも見て取れます。のどかで懐かしい風景を柔らかなスケッチで楽しめる一冊です。 (2026. 3)	778
	美しい日本のくせ字	井原 奈津子／著	パイインターナショナル	字には人それぞれの“くせ”が表れます。この司書のおすすめ本コーナーに並ぶPOPたちも、いくつかは書き手が同じものを見つけられるのではないのでしょうか。かくいう私もくせ字であり、キレイな字を書くのは苦手です。本書では、そんな手書きの“くせ字”に魅せられた著者の集めたくせ字たちが、“くせ”のある解説と共に多数掲載されています。有名人の字や、書き手不明の字、読むのも難しい字もあり、まるで暗号解読をしている気分です。そして何より、著者のくせ字に対する情熱に圧倒されます。あなたも、不思議で魅力的なくせ字の世界に溺れてみませんか？ (2026. 3)	141
	鳥たちが彩る日本史 武将・文人と交わる8種類の鳥	大橋 弘一／著	山と溪谷社	「鶴（ぬえ）」と聞いて、どのような生き物を思い浮かべますか？頭は猿、胴は狸、尾は蛇、足は虎の姿をした妖怪を思い浮かべた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？実は鶴とは妖怪ではなく、「トラツグミ」という全長30cmほどの鳥の異名なのです。では、いったいなぜ妖怪の姿が定着したのかというところ…本書では、歴史上の人物と絡めて、野鳥の魅力が多数紹介されています。歴史が好きな方にも、野鳥が好きな方にも、おすすめの1冊です！ (2026. 3)	488

	アルジャーノンに花束を	ダニエル・キイス／著 小尾 芙佐／訳	早川書房	主人公チャーリーが大学の先生から言われ、自分の身に起こったことを書き留めるスタイルで始まる物語。 若い頃に読了した時は、ただ悲しい物語と捉えていましたが、今読むと違うテーマが描かれているのではないかと思います。 全世代の方に読んで頂きたい一冊です。 (2025. 7)	B/933キ
	本を読むだけで脳は若返る	川島 隆太／著	PHP研究所	脳科学の研究者として知られる著者が読書が脳にとってどのように働くか、実証をもとに書かれた本。 認知症の方の機能改善が見られたとありますが、その方法とは… ぜひ！読んでみてください。 (2025. 7)	491
	方向音痴って、なおるんですか？	吉玉 サキ／著	交通新聞社	タイトルの通り方向音痴の著者が、あの手この手で方向音痴克服のために奮闘するエッセイです。 軽快な語り口で読みやすく、フラッと散歩に出かけたくなります。 この本を読んだあとには、いつもの街がより愛しく思えるかもしれません。 (2025. 7)	448
	シカしかいない	キューライス／さく	白泉社	公園、温泉、バイキング会場、いたるところがシカまみれ。 シカしかいない… あれ？シカしかいない？ 探し絵としても楽しめる、繰り返し読み必至の絵本です。 大人の方も、ぜひ!! (2025. 7)	Eシ